



## 中学生を対象にしたキャリアフォーラムを初開催しました！

10月7日（金）宮崎市教育情報研修センターを会場に、「中学生キャリアフォーラムinみやざき」を開催しました。3名のゲストからの熱いメッセージを、33名の中学生（+保護者等37名）がしっかりと受け止め、自らの思いをぶつけながら積極的に意見交換をしました。

### 対談1 テーマ 『失敗や苦労をどうとらえるべきか？』

宮崎市出身の長友まさ美（サンワード・ラボ（株）代表取締役）さん、真北聖子（シンガーソングライター）さんに、現在に至るまでの様々な苦労や失敗、そしてそれらを乗り越えた貴重な経験などから、失敗や苦労がいかに人間力を成長させるかについて、話をさせていただきました。



対談の最後には真北さんが、命の大切さについて自らの思いを綴った「ひかり」という曲を歌ってくださり、参加者に大きな感動を与えていただきました。



対談を聞いて感じたことを、テーブルごとに意見交換し、思いを共有しました。

**長友さん** 日本語講師になるという夢をもって都会に行ったが、壁にぶつかり夢をあきらめる。アルバイトを含め30種の職業を転々としながら仕事に明け暮れる毎日過ごす。ある日突然、全財産を火事で失い、自らの経験しか将来に残すことはできないことに気づき、新しいチャレンジを続け今に至る。

**真北さん** バレーボール選手になるという夢をもち、練習に打ち込んでいた学生時代。しかし、16歳の時に突然発病し、車椅子生活を送ることになる。夢を失い、茫然自失で過ごしていた中、自らを救ってくれたのはピアノであった。シンガーソングライターになるという新たな夢は現実のものとなった。

### 対談2 テーマ 『チャレンジすること』

長友さんと美郷町南郷区の渡川で林業をしながら、地元の特産品を様々なアイデアで販売展開している今西猛（渡川山村商店代表）さんに、チャレンジすることについて話をさせていただきました。



テーブルごとに交換した意見を、積極的に発信しました。



**今西さん** 自分が伐採している木は、50年前に植林されたものである。自分も50年先の未来に向けて植林している。ふるさとの森を守ることは誇りであるが、農林業で生活をしていくのは現実的に厳しい。大好きなふるさとの森を守り、仕事を続けていくために、インターネット等を活用し、新しい発想で特産品を紹介している。『どんこスペシャル』という椎茸は超人気商品に！今の仕事とは直接つながらないが、工業高校を卒業し、保育士として仕事をしていた経験が、大変貴重な財産になっている。



## フリートーク

3つのブースに分かれて、講師と子どもたちが熱く語り合いました。



### フォーラム終了後の生徒アンケートより ～一部抜粋～

- 自分の“目標”（目指していること）に向かって色々なことに挑戦することの素晴らしさ、楽しさを知ることができた。この挑戦に関することをもっと聞きたい。
- 自分たちはまだまだ未熟だなと感じた。たくさん経験して色々な壁を乗り越えてきたからこそ、こんなに素晴らしい方になるのだなと思った。自分の人生を考える中でとても良い機会となった。
- 私は病気のことですごくすごく辛い経験をしました。でもそれがあったからこそ今の自分がいるといつも思っています。真北さんのお話と歌が心に痛いほど響きました。私の学校でも話をしてもらいたいです。

## 担当者の目



教育支援課 教育支援担当

本県の諸実状を踏まえると、小中学生など早い時期からのキャリア教育充実が強く望まれている。そこで、県教委として初の中学生フォーラムを実施したところであるが、今回の企画では、特に次の2点において有効性を実感した。

まず1点目は、複数のゲスト招聘によるストライクゾーン(中学生にとっての)の拡大効果である。特長の異なる三者の対談は、中学生たちの琴線のどこかに触れ得たようで、それが後半のフリートークにおける各参加者分散の均一化や、各自の満足感につながったようである。

2点目は、「対談→グループトーク→意見発表の2サイクル」+「フリートーク」というアクティブ・ラーニングスタイルによる参加者の変容である。当初は見知らぬ生徒同士牽制しあう雰囲気もあったが、勇気ある生徒の発言が起爆剤となり、中盤以降は非常に活発に意見交換や質問、自己開示などが展開され、この2時間で参加者の雰囲気は豹変した。中学生の潜在能力の高さがいよいよ形で引き出される典型事例だったと言える。

惜しむらくは参加生徒を思うように増やせなかったことである。実施時期や時間帯については改善すべき点があり、広報不足で対象者の意識に浸透しなかった点もあった。これを起点に、本県キャリア教育2ndステージの県内波及をめざし、活動の更なる充実を努めていきたい。(文責 伊東)

フォーラム終了後もゲストにぶら下がり質問をする中学生と保護者



## 宮崎県キャリア教育支援センター 利用状況

「よのなか教室」の実践が少しずつではありますが、県内の学校に浸透しつつあります。キャリア教育についての要望等がございましたら、遠慮なく御相談ください。

当センター職員の対応回数(延べ人数)

	所内対応	所外対応	講演等
9月	0件(0名)	71件(147名)	0件(0名)
10月	1件(2名)	11件(69名)	7件(740名)
4~10月計	7件(19名)	120件(551名)	23件(2274名)